

みしま MISHIMA SHIGIKAI DAYORI

市議会だより



夜に浮かぶ 撮影者:影山 浩



光と影 撮影者:影山 浩



品定め 撮影者:吉村 正



菊御殿 撮影者:影山 浩

楽寿園 菊まつり

CONTENTS

決算審査	2
9月定例会 議案審議の概要	6
市政に対する一般質問	9
議員定数のあり方の検討結果ほか	15
議会報告会のお知らせ	16

令和3年度決算審査

9月定例会では、市長から提出された「令和3年度決算」の審査を行いました。

決算審査では、令和3年度の予算の使い方が適切であったか、いかに事業の成果が上がったかなどを議会で審査し、改善点の指摘や今後の予算や事業計画への要望を伝えます。

三島市議会では、総務、福祉教育、経済建設の各常任委員会が計6日間にわたり審査を行い、9月定例会の最終日に各委員長が報告を行いました。

その後、賛成・反対の討論を行い、賛成多数または全会一致で令和3年度決算を「認定」しました。

本会議での委員長報告や討論の様子は市議会ホームページで映像を見ることができまので、ぜひご覧ください。



令和3年度決算状況

・特別会計：特定の事業を行う場合、または特定の収入で事業を行う場合に、経理をほかの会計と区別するための会計です。
 ・企業会計：民間企業と同様に、利用料金などの事業収益で運営される会計です。



○一般会計決算

収入	支出
433億6,644万円	411億8,894万円

○特別会計決算

会計	収入	支出
国民健康保険	112億7,107万円	111億5,021万円
介護保険	86億1,728万円	84億475万円
後期高齢者医療	15億628万円	15億347万円
墓園事業	1,805万円	649万円
駐車場事業	1億4,581万円	1億3,133万円
合計	215億5,850万円	211億9,624万円

○公営企業会計決算(水道事業会計)

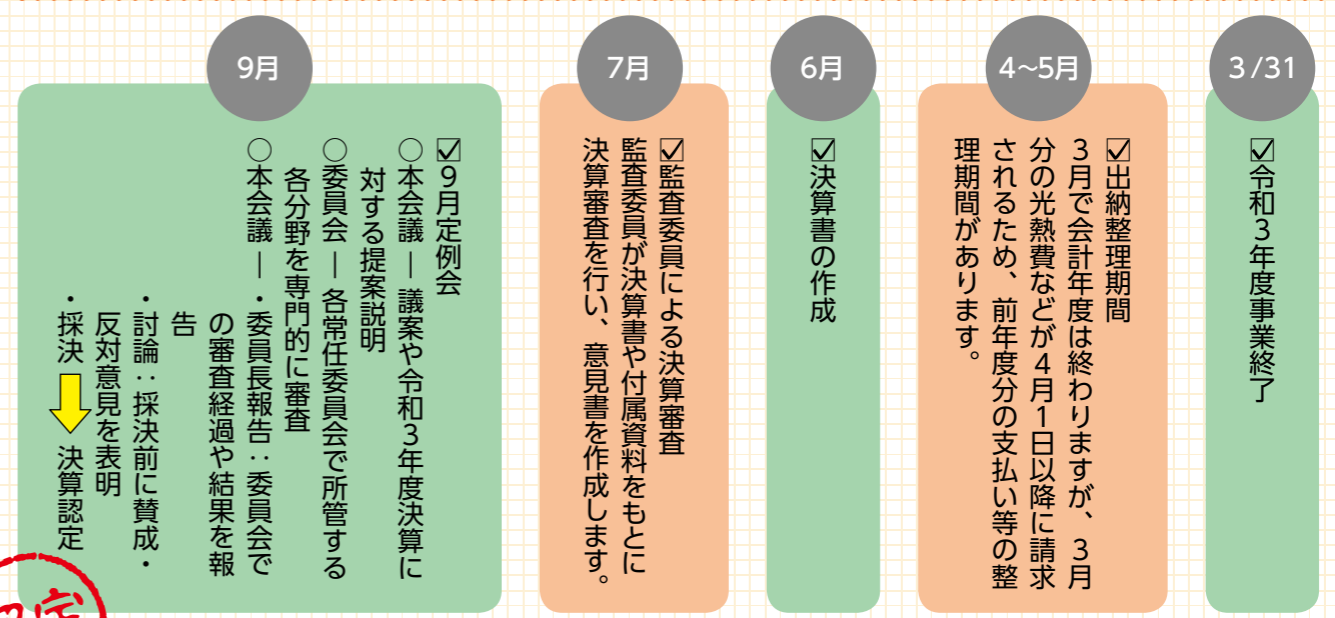
会計	収入	支出
収益的収支	15億4,893万円	13億2,285万円
資本的収支	2億9,018万円	7億9,651万円

○公営企業会計決算(下水道事業会計)

会計	収入	支出
収益的収支	22億4,385万円	22億3,292万円
資本的収支	13億7,659万円	20億9,498万円

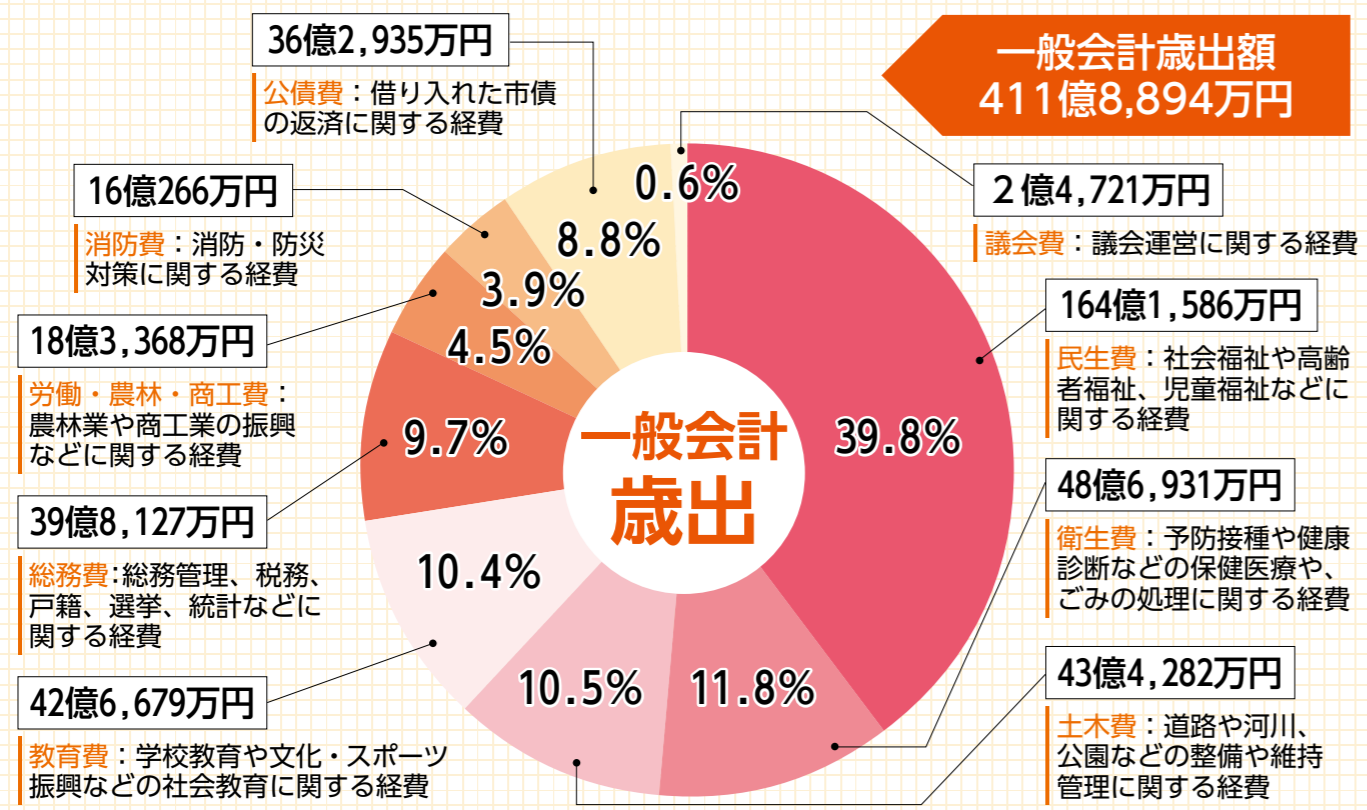
※金額については調整した万円単位で表記しています。

令和3年度決算の流れ

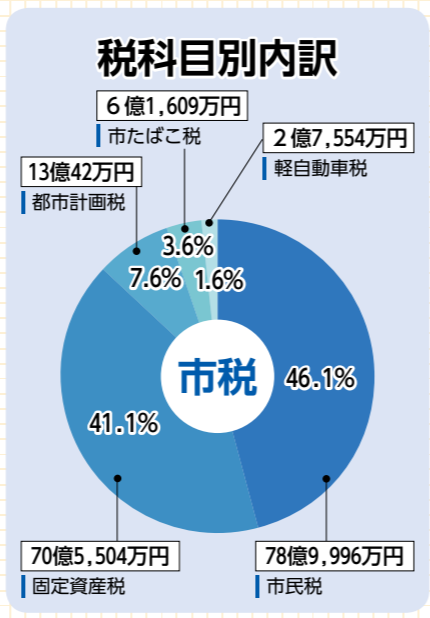
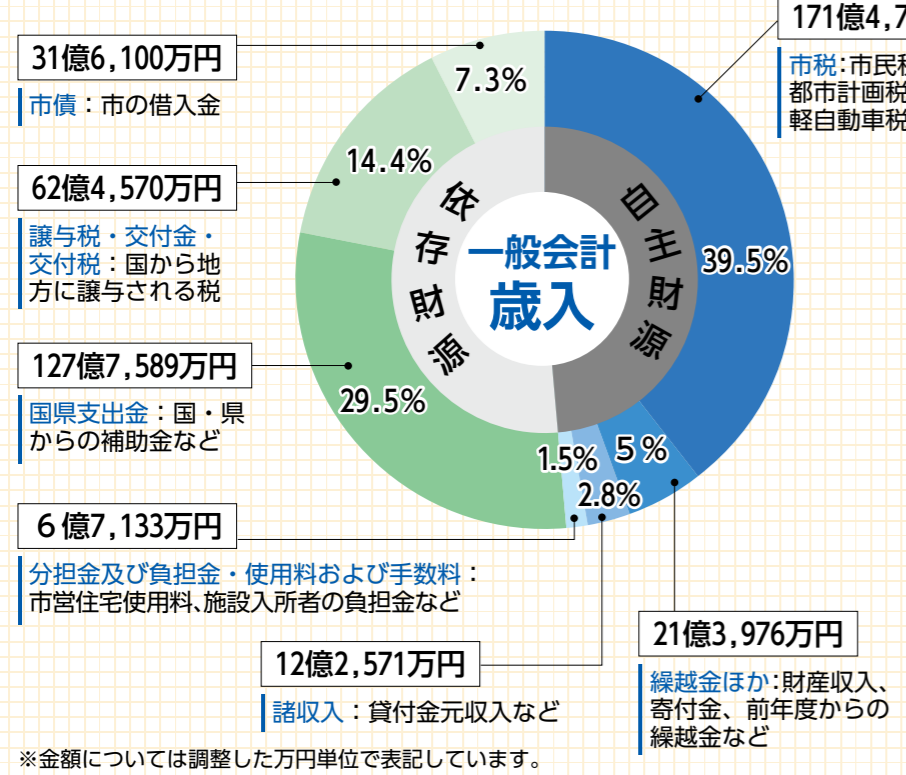


令和3年度一般会計歳入・歳出

POINT 一般会計歳入歳出収支は、21億7,750万円の黒字となりました。



一般会計歳入額 433億6,644万円



経済建設委員会

9月8・9日

PayPay連携事業委託料の結果をふまえた検討

Q PayPay 連携事業委託料では、当初予算を上回る補正予算を組んで対応したが、細かいデータを委託先からもらえず、詳細な分析ができなかったということであった。令和4年度にも同様のキャッシュレス決済の事業が予定されているが、この結果を受けて、どのような検討をされたのか。

A 令和3年度は、当初予算を大きく上回る支出となったため、そのようなことがないように進捗管理に注力するほか、データについても、ある程度のデータがもらえるようにする。ポイント還元の様式についても、令和3年度は大手事業者と中小事業者で特に差をつけなかったが、令和4年度はより中小事業者の利用が増えるよう、還元率や付与額の上限等に差をつけるようにしていく。



市道維持修繕事業による修繕料が減っている要因と影響

Q 市道維持修繕事業における修繕料について、令和3年度は件数も金額も大幅に減少しているが、どのような要因があったのか。また、それによる影響はどうか。

A 令和2年度からのコロナ禍の影響で税収減が想定されたことから、当初予算を抑制した経緯があり、その中で緊急度が高い修繕を行ってきた。しかし、自治会、町内会等からの要望に対してお待ちいただいている箇所もあるので、そういった影響は出ている。

要望 道路の痛みについては緊急の対応が必要なものもあり、予算を削るにも限度があるので、財政局の問題もあるが、しっかり対応していただきたい。

特に上級講座は、手話通訳者の登録試験を受けるためのものであり、その中で1名が合格し、今まで12名だった手話通訳者が13名となったことは大変喜ばしいことであった。



福祉教育委員会

9月12・13日

手話通訳者設置事業

Q 地域生活支援事業の手話通訳者設置事業について、手話通訳の派遣の需要が高まる中で人材育成をどのようにしているか。

A 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で人材育成を行うことができなかったが、令和3年度は、入門、基礎、上級の3部門の講座を行った。

総務委員会

9月14・15日

各常任委員会において、所管する各分野を詳しく審査しました。主な内容を紹介します。

ごみの資源化率

Q 令和3年度のごみの資源化率は10.34%で、一般廃棄物処理基本計画における、2025年に21%という中間目標の達成にはかなり厳しい状況と思うが、これに対する評価はどうか。

A 資源化率を上げるには、いろいろな種類の資源化量を増やすことと、資源化しないもの(燃えるごみ)を減らすことの2つの対策が必要と考える。燃えるごみの中に、まだミックス古紙が多く含まれているため、分別への周知啓発を引き続き進める必要がある。

また、今後、食品ロス削減推進計画を策定するが、生ごみを減らすことも計画に入れ、燃やすごみの量を減らしていきたい。評価としては計画の目標に達するのが難しい状況なので、更に努力が必要と考えている。



熱海市の土砂災害への職員派遣

Q 身近で大規模災害が起こったということで、職員派遣を行ったが、その結果を三島市に活かせることがあったか。

A 派遣された職員のうち、技術系職員からは、被害が大きすぎて何から手を付けてよいか分からなかったため、状況を事前に整理し、優先順位をつけていくべきとの報告があった。事務職や保健師からの報告では、罹災証明の手続きや相談窓口などについて、たらい回しにならないよう、1カ所で完結させることが重要とのことだった。

三島市では一括して被災者に関する手続きや相談を行う場所として、生涯学習センターを指定している。派遣職員の報告を三島市の災害対応に生かすため、今年度の防災訓練では、罹災証明やその他の各種個別相談コーナーを同一フロアに設けることで、円滑な被災者支援につなげるための訓練を行った。

GIGAスクール推進事業

Q GIGAスクール推進事業について、導入による子どもたちの変化などの効果や課題はあったか。

A さまざまな子どもたちがいる中で、タブレットを文房具の一つとし、その子にあった使い方ができるということが、効果の一つとしてあげられる。視覚的にわかりやすく、音声の活用もできるので、学びが深まる場面もあり、子どもたち

同士がつながる活動もタブレットを用いて行うことができるので、コロナ禍で近くに集まることができないような状況でも、タブレット上で考えを発表するなど学びを深める事例もあった。

課題については、毎日持ち帰ることとしているタブレットの重さであるが、より活用するためには、常に持ち歩くことが重要であると認識している。また、数値として出ていないが、視力低下も懸念されている。まだ検証ができていないので、今後注視する必要があると考えている。

令和4年 9月定例会

9月6日～9月30日
会期：25日間

●今回の議案は…

市長提出議案 34件
議会提出議案 4件

Pick up 1
この号では次の項目を Pick up!

〈議第45号〉
【令和4年度三島市一般会計補正予算（第3号）】（賛成多数）
■補正予算額
17億585万5,000円

Pick up 2
〈議第52号〉
公の施設の指定管理者の指定について（三島市放課後児童クラブ）（賛成多数）

Pick up 3
〈発議第2号〉
消費税のインボイス制度導入に伴うシルバー人材センターの安定的な運営に関する意見書（全会一致）
〈発議第3号〉
核兵器のない世界の実現に向けて一層の取組み推進を求める意見書（全会一致）
〈発議第4号〉
選択的夫婦別姓制度に関する議論の活性化を求める意見書（賛成多数）

すべての議案と結果などの詳細は、三島市議会ホームページをご覧ください。

三島市議会 検索

Pick up 1
一般会計予算を増額補正

物価高騰の影響を配慮

○中小企業者等緊急支援補助金
1億4200万円

コロナ禍において光熱水費および原油価格の高騰の影響を受けた事業者等の負担を軽減するため、一定の条件を満たす中小法人と個人事業者に対し、10万円を上限に支援します。

主な質疑

○質疑 対象者は宿泊業と飲食サービス業を除くすべての中小法人、個人事業者と考えてよいか。
○答弁 対象者は市内に主たる事務所もしくは事業所を有する中小法人または個人事業者等で、令和3

年10月1日以前から市内で事業を開始し、申請する時点においても引き続き事業を営んでいる事業者を想定している。

また、対象とする業種については、宿泊業および飲食サービスは、県の事業において支援対象となっていることなどを踏まえ、この補助金では対象外とする予定。その他の業種については、コロナ禍に加え物価の高騰による影響をより強く受けている業種を想定しており、具体的には、建設業、製造業、運輸業、郵便業、卸売業のほか、生活関連サービス業などを予定している。

主な質疑

○質疑 減免を水道基本料金2カ月とした根拠について
○答弁 現在、原油価格などの物価の高騰が続いており、家計が圧迫されている市民生活への対策として、支援がより多くの市民に行き届くことを目的に、普及率が99%の市の事業である水道料金の減免とした。

また、水道料金1期2カ月分の

それ以外の旧市街地や、新興住宅地等の地域については、10月上旬から12月上旬までの使用分について、令和5年1月納付分での減免とする。

また、各地の当該使用期間内において、新たに転入や転出される方々も、減免の対象とする。

Pick up 2
議第52号
利便性の向上のために

○公の施設の指定管理者の指定について
（三島市放課後児童クラブ）

令和5年3月31日に指定の期間が満了となる三島市坂放課後児童クラブを含む全ての公設放課後児童クラブについて、令和5年度から令和9年度までの管理運営を行う指定管理者を、株式会社トヨタエンタプライズに指定するものです。

○質疑 利便性およびサービスの向上について
○答弁 平日の開所時間については基本料金の範囲での利用を現在より30分拡大し、午後6時30分までとしたうえで、午後7時までの延長利用については、別途料金を徴収することで、全体の事業費と保護者負担を抑えた中で、必要とする利用者に対してサービスを提供していく。

また、土曜開館についても、現在は毎月1回、錦田放課後児童クラブでのみ実施しているが、毎週土曜日、3クラブに拡大するとともに、開所時間も30分早め、午前7時30分からとする予定である。

Pick up 3
発議第2号
発議第3号
発議第4号
意見書の提出

3件の意見書を可決し、各関係機関へ提出しました。

○消費税のインボイス制度導入に伴うシルバー人材センターの安定的な運営に関する意見書

○核兵器のない世界の実現に向けて一層の取組み推進を求める意見書

○選択的夫婦別姓制度に関する議論の活性化を求める意見書

〈その他、歳出の主な内容〉

●財政調整基金積立金	4億円
●税収入還付金	4,500万円
●新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	3億6,798万5千円
●施設補修事業 (清掃センター施設修繕料)	1億3,500万円
●燃油価格高騰対策運送事業者支援補助金	4,213万円
●体育施設整備事業	2,450万円

人事議案に同意

【三島市教育委員会委員】
飯島 映氏
【人権擁護委員】
石川 博敏氏
成司 氏

○質疑 夏休みの開所時間と配食サービスの実施は。
○答弁 夏休み期間中の開所時間については、午前7時30分から午後6時30分までとし、午後7時までは延長利用も可能となる予定。保護者から要望の多かった配食サービスについては、利用者サービス向上の一環として、利用希望者から実費を徴収し、提供できるように、事業者と協議を進めていく。

○質疑 夏休みの開所時間と配食サービスの実施は。
○答弁 夏休み期間中の開所時間については、午前7時30分から午後6時30分までとし、午後7時までは延長利用も可能となる予定。保護者から要望の多かった配食サービスについては、利用者サービス向上の一環として、利用希望者から実費を徴収し、提供できるように、事業者と協議を進めていく。



○議員定数のあり方の検討について
三島市議会では、令和3年度に議会運営委員会で実施した議会基本条例の検証の結果を受けて、定数についての検討を行ってきました。9月定例会最終日に議会運営委員長が検討結果を報告し、質疑、討論の後、採決を行い、委員長報告のとおり、定数は現状の22名を維持することに決まりました。

詳細は15Pをご覧ください。

9月定例会 議決結果

<全会一致となった議案>

議案番号	件名	結果
認第5号	令和3年度三島市墓園事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認第6号	令和3年度三島市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認第7号	令和3年度三島市水道事業会計決算認定について	認定
認第8号	令和3年度三島市下水道事業会計決算認定について	認定
議第43号	令和3年度三島市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議第44号	令和3年度三島市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議第46号	令和4年度三島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議第47号	令和4年度三島市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議第48号	令和4年度三島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議第49号	令和4年度三島市水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議第50号	令和4年度三島市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議第54号	三島市手数料条例の一部を改正する条例	可決
議第55号	三島市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第56号	三島市職員の再任用に関する条例を廃止する条例	可決
議第57号	三島市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第58号	三島市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第59号	職員の懲戒の方法及び効果に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第60号	三島市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第61号	三島市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第62号	三島市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第63号	三島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第64号	三島市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第65号	三島市職員の退職手当支給に関する条例等の一部を改正する条例	可決
議第66号	三島市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第67号	三島市教育委員会委員の任命について	同意
諮第2号	人権擁護委員の推薦について	同意
議第68号	令和4年度三島市一般会計補正予算(第4号)	可決
発議第2号	消費税のインボイス制度導入に伴うシルバー人材センターの安定的な運営に関する意見書	可決
発議第3号	核兵器のない世界の実現に向けて一層の取組み推進を求める意見書	可決

<賛否が分かれた議案>

議案番号	件名	結果	緑水会					改革みしま			新未来21		公明		日本共産党議員団		無党派		無党派				
			大房正治	松田吉嗣	野村諒子	中村仁	佐野淳祥	甲斐幸博	藤江康儀	土屋利絵	大石一太郎	沈久美	石井真人	岡田美喜子	川原章寛	宮下知朗	堀江和雄	鈴木文字	村田耕一	服部正平	河野月江	杉澤正人	古長谷稔
議第45号	令和4年度三島市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第51号	公の施設の指定管理者の指定について(三島市障がい者支援センター-佐野あゆみの里)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第52号	公の施設の指定管理者の指定について(三島市放課後児童クラブ)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第53号	三島市議会議員及び三島市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第1号	令和3年度三島市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第2号	令和3年度三島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第3号	令和3年度三島市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第4号	令和3年度三島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	選択的夫婦別姓制度に関する議論の活性化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 ※ 議長は表決に参加しないため、表決結果は斜線になっています。

一般質問

ここが聞きたい!



藤江 康儀 (改革みしま)



発達障がい療育支援
Q 三島市には児童発達支援事業所にこパルがあるが、保護者から要望の多い預かり保育実施の可能性について伺う。

A こパルでの預かり保育は、子育て支援のさらなる充実のため必要な事業と捉え、どのような形が適切か調査を進めているところである。子どもを安全に預かるために必要な人材確保等の課題を解決しながら、実施に向け取り組んでいく。



都市的土地利用の推進

Q 三島市にさまざまな産業を誘致することで働く世代を呼び込み、雇用や税収を確保することができると。大場地区の創造について伺う。

A 大場地区においては、新たな産業集積を図るとともに、地域に開かれ交流を育むまちづくりを目指して、地元の方々とともに基本構想の作成を進めている。本市の持続的発展のために必要不可欠な事業であるため、早期実現に向け全力で取り組んでいく。

他の質問事項

都市計画道路等の現状と今後について



河野 月江 (日本共産党議員団)



当面する再開発事業における市長の対応方針
Q 県知事から強く要請を受けている事項について検証する方針とのことであるが、地下水・地盤についての具体的な検証方法は。

A 地下水・地盤については、地下水モニタリング、地盤調査による地質状況の把握、施設計画や施工計画等に関する地下水対策検討委員会での検証など、これまでも対応してきている。実施設計の進捗に合わせ、これらの取り組みを継続する中で適切に検証を行っていく。

介護人材不足の実態把握と確保の取り組み

Q 国に対し処遇改善・労働条件整備を求めつつ、事業所・従事者双方を直接的に支援する新たな対策が必要と考えるが、見解を伺う。

A 持続可能な介護保険制度の維持、発展に向け、国や県と連携を強化するなかで、人材の確保、育成を図るとともに、次期介護保険事業計画の重点施策の一つとなる新たな介護人材の確保策の検討に向け、市内の介護現場の細かいニーズの把握から進めていきたい。



他の質問事項

地域密着型の公園を考えてみてはどうか



甲斐 幸博 (緑水会)



学校を核とした地域づくりの推進
Q 学校運営協議会制度は、地域とともにある学校に転換する仕組みであるが、どのような利点を考えて制度を導入したのか。

A 地域が学校運営に参画する意識を分かち合い、ともに行動する体制が構築できることなどから制度を導入した。市教育委員会としては、この制度により、地域の声を学校運営に生かし、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを一層推進していく。



芦ノ湖別荘地への高速通信環境の整備

Q 芦ノ湖別荘地は、移住の地として高いポテンシャルがある。高速なデジタルインフラの整備にどのように取り組んでいるのか。

A 複数の事業者と別荘地への高速通信環境の整備に関し協議をしているが、事業の採算性が一番の課題となっている。別荘地利用者の年間居住日数や整備された場合の利用意向などを把握するアンケートを実施して、高速通信環境の整備に向けて、事業者と粘り強く協議していく。



村田 耕一
(公明)



中学校合同ゆる部活動の創設ができないか

Q 不登校生徒の教育機会として、学校部活と違い気軽に参加できるダンスやヨガ体操、トレーニングなどの合同ゆる部活動を創設できないか。

A 市民を対象とした各種スポーツ教室の対象年齢を中学生まで広げ、さまざまな世代とかわりながら、楽しんで運動に取り組むことにつなげたいと考える。中学生に限定したスポーツ教室については、実現の可能性をスポーツ推進課とともに研究していく。

带状疱疹予防ワクチン接種費用助成を要望

Q 国の定期接種化に向け、予防接種推進専門協議会より厚労省に要望書も出された。経費も対応できると考えるが費用助成できないか。

A 自己負担額の面から身近なワクチンではなく健康格差が生じることが懸念されるため、助成には慎重にならざるを得ない。定期接種となれば健康被害への対応や副反応に関する医療・相談体制も充実するため、国による早期の定期接種化を、全国市長会を通じて国に働きかけていく。



他の質問事項

国県補助金利用でトイレレトラの導入を



中村 仁
(緑水会)



三島市の現状や社会経済情勢を踏まえた新庁舎整備事業

Q 築60年超の現市役所は老朽化著しく改修費用が止めどない。新庁舎建設は必要だが時代に合う工夫が不可欠。現在の状況は。

A 多くの市民から、分散する庁舎機能は統合すべきとの意見を受け、統合することを軸に、利便性や事務効率の向上、災害時の拠点機能充実を図りながら、できるだけコンパクト化を目指し、コスト低減のために民間活力を活用した建設手法の採用も検討している。

Q ウクライナ情勢や円安等で建設資材・コスト上昇は激しい。さらに上振れが続くなら一旦立ち止まり時期を見極める可能性はあるか。

A 想定工事費は、現状の社会経済情勢による物価上昇を捉えているが、今後、さらに厳しくなることも想定し、市場の動向を注視していく。先の見通しは、各段階で説明していくが、現庁舎の老朽化が著しいため、費用面を工夫しながら新庁舎の整備を推進していく。



他の質問事項

先進地に倣い、建設費を抑える検討は可能か



岡田 美喜子
(新未来21)



白滝公園のトイレをバリアフリートイレに

Q 公共トイレが白滝公園と浅間神社の間に位置し、貴重な三島溶岩の上にある。場所の変更や大型ベッド付きトイレに改修できないか。

A 平成8年度に鉄筋コンクリート造りとして建て替えし、参考耐用年数は55年であるが、今後、健全度調査を実施した際の緊急度判定により改修が必要となった場合には、トイレの場所の変更や大型ベッドの設置も含め検討していく。



かわせみトンネルの防犯対策

Q トンネル内の通報装置は緊急時に押すと消防署と市役所に通報され警察に繋がらない。その対策として防犯カメラ設置の可能性を伺う。

A 最近、トンネル付近では犯罪等が発生しており、防犯カメラの設置の必要性は低いと思われるが、地域住民の不安解消と犯罪防止のため、防犯パトロール実施中などの注意喚起の看板設置や、警察のパトロールのさらなる強化について、協力をお願いしていく。



古長谷 稔
(無会派)



三島市沢地の違法盛り土の危険性

Q 沢地にある熱海伊豆山流出土の約2.3倍にあたる約12万2千m³の違法な盛り土が崩壊し、土砂となって沢地川に到達した場合の危険性は。

A 仮に盛り土が崩壊した場合には、河川流域に影響を与える可能性は認識している。災害を未然に防ぐため、違反者へ市条例に基づく是正を指導し、一部施工された。現在、県で盛り土の安定度評価を行っており、市も結果を共有し、今後の対策を県とともに検討していく。

再開発実施設計の地下水影響対策

Q 組合による地質や地下水影響の調査成果物を、組合理事から外れた三島市は、市民や専門家に公開させることはできないのか。

A 市は必要に応じて組合から資料提供を受け、検討資料等に活用している。地盤調査の記録等は専門性が高く資料も膨大となるため、単に公開するのではなく、ポイントを整理した、わかりやすい資料を作成しお示しすることが、説明責任を果たす上で重要と考える。



石井 真人
(改革みしま)



三島市のDX推進による新庁舎建設の考え方

Q 三島市のDX推進によって新たな市役所を実現するために、現時点で考えている新庁舎建設における市民窓口サービスの在り方は。

A ワンストップ化やDXの推進で、将来的には、よりコンパクトな窓口ができると考えている。新庁舎の供用開始以降においてもフレキシブルに対応できるように、設計段階から考慮する必要があるため、基本構想や基本計画において、先を見据えた方向性を考えていく。



要支援者への先進的な取り組みの横展開

Q 避難行動要支援者に対し、芙蓉台自治会で行われている支援者会などの先進的な取り組みを横展開することについて、考えを伺う。

A 災害発生時に実行性のある仕組みを平時から構築し訓練していただくために、支援者会を組織している芙蓉台自治会や複数人で避難支援を行う仕組みを構築した多呂自治会などの好事例について、避難行動要支援者名簿等の配布時やホームページを通じて周知していきたい。

他の質問事項

インクルージョン・マネジャーの採用と育成



堀江 和雄
(公明)



選ばれる街・稼げるまちづくりのためにII

Q 静岡県の第4次ファルマバレープロジェクトの医療田園都市に連携する医療・健康の中心機能などへの三島市の投資はどう考えるか。

A 三島駅南口の再開発事業では地域のウェルネスフロントとなる医療・健康機能の導入を検討しているほか、医療田園都市の一角を担うべく医療・健康関連企業の積極的な誘致や人材の集積により、地域住民のウェルビーイングの向上と持続的な発展に繋げていきたい。

まちなかりノベーション計画の取り組み

Q 2030年のまちなかりノベーション推進計画のエリア、車中心から人も歩きたくなる街中はこのように歩行者の優先が実現されるのか。

A 令和3年度に策定した三島市まちなかりノベーション推進計画に設定する15の戦略の具現化に向け、令和4年度は、まちなかりノベーション研究会を立ち上げ、スモールスタートの実践・検証等、新たな事業展開へつなげるよう協議している。



* DXとは…AIやIoTなどの先端技術やデジタルデータなどを積極的に活用し、社会や生活を革新すること。



宮下 知朗
(新未来21)



転出抑制のため市内居住者の住宅取得支援を

Q 転出を抑制するため、市内の賃貸住宅等に居住する皆様に引き続き三島に住み続けていただけるよう、持ち家取得を支援できないか。

A 市内居住者の定住促進のために、まずは三島に住んでいただき、住み続けてもらうことが、三島の発展につながる。移住希望の機運の高まりを好機と捉え、中古住宅の流通も含めた新たな制度設計や事業の拡充を図り、きめ細やかな支援を展開していく。

休日部活動の地域移行に向けた今後の進め方

Q 最近報道でも度々目にする休日部活動の地域移行。言葉では簡単だが課題は多いと推察する。三島市は今後どう進めていくのか。

A 部活動の在り方検討会を再編し、今後の方向性について検討を行う。令和7年度末の休日の部活動の地域移行に向け、今後も国や県の動向に注視するとともに、本市の実態にあわせて部活動指導員を増員するなど、段階的な移行を進めていく。



他の質問事項

地の利を生かした新幹線通学補助の可能性



大石 一太郎
(改革みしま)



水辺回廊のネットワーク形成で観光活性化を

Q 市内4河川の美しい水辺景観を回廊で繋ぎ、人の流れと街の活性化、地域経済の好循環を創出する観光ビジョンの整備方針を伺う。

A 市内4河川を結ぶせせらぎルートについては、案内看板等の設置やテラス等の整備を行っているため、これらの美しい景観と清流ルート全体を観光資源として活用し、さらなる誘客につなげていけるよう引き続きホームページやSNS等により情報発信を図っていく。



ひとり親・一人暮らし高齢者の生活把握と支援

Q ひとり親世帯の生活の安定と貧困格差の解消に向け、福祉支援体制の構築、生活再建に繋がる踏みこんだ生活実態調査が必要では。

A ひとり親家庭の実態把握に向けた踏み込んだ調査としては、例えば、児童扶養手当の現況届をご提出いただく際に受給者本人から生活状況を聞き取る方法も考えられ、その際に併せて支援に関する情報を直接提供することも可能と考えるため、効果的な手法を研究する。

他の質問事項

中心市街地活性化と土地・景観政策の誘導は



沈 久美
(改革みしま)



市における無園児は把握されているか

Q 厚労省は無園児が全国に182万人との推計を発表。児童虐待防止対策から毎年安全確認を行う中で、注視すべき無園児的な子の数は。

A 国では児童虐待防止対策として無園児に限らず各種福祉サービスの利用がない子どもの把握を市区町村に要請しており、本市でも確認調査を毎年度実施している。国の基準で対象児童を抽出し、必要な場合は訪問等による目視を行い、全ての子どもの確認ができています。



西幼稚園跡地の地域活動機能の存続は可能か

Q 売却方針である当該地について栄町の自治会・子ども会の拠点として存続を願う声がある。敷地の一部でも存続利用ができないか。

A 先に実施したサウンディング型市場調査では、オープンスペースを兼ね備えた商業等複合施設として活用したいとの提案がある。条件等が整えば、民間事業者から借用できる可能性もあるが、実現性があるか等、慎重に検証を行い、売却方法を決定していきたい。

他の質問事項

公衆・公園トイレ管理一元化の可能性



鈴木 文子
(公明)



静岡県助産師会と災害時協力協定の締結を

Q 被災した妊産婦や母子に対して心身両面の支援が必要。そこで一般社団法人静岡県助産師会と災害時協力協定の締結ができないか。

A 被害が甚大であればあるほど、避難所における妊産婦への健康支援や家庭訪問など、きめ細やかな支援は難しく、専門職による協力体制を整えることは大変意義がある。一般社団法人静岡県助産師会との災害時協定の締結については、できるだけ早期に実現していく。

小中学校の防火設備・防火シャッターの点検

Q 防火シャッターの適正管理が必要。児童生徒の命を守る取り組みとして危険防止装置の未設置箇所への設置改修の計画を伺う。

A 歩行が不自由な児童生徒が在籍している学校や、頻繁な往来のある箇所を優先的に改修するなど計画を立てて早急に改修を進めていく。具体的な計画としては、まず中学校の設置必要箇所の35箇所のうち26箇所が集中している山田中学校について早急に対応する。



他の質問事項

頭蓋形状矯正ヘルメット治療への助成制度を



野村 諒子
(緑水会)



楽寿園を市民の憩いの居場所とする取り組み

Q 楽寿園を魅力ある公園としての機能を高めるために、企業版ふるさと納税を活用し課題解決に向けて取り組めないか。

A 楽寿園のために何らかの関わりを持ちたい企業も相当数あるものと類推されることから、企業版ふるさと納税を兼ね備える、ガバメントクラウドファンディングの実施を令和5年度に向けて検討していく。

新築住宅のスマートハウス化に向けた取り組み

Q 再生可能エネルギー推進に向け、太陽光および蓄電池等のスマートハウス設備の設置をさらに推進するための取り組みを伺う。

A 市民・事業者のエネルギー問題や地球温暖化問題に対する意識の醸成を図り、再エネの必要性について認識を深めていただくための啓発活動に努める。また、県の事業と連携するとともに、国の制度や支援策を活用し、スマートハウス設備普及に向けた取り組みを推進する。



服部 正平
(日本共産党議員団)



小規模公園のトイレ等の施設補修状況は

Q 小規模公園や各施設のトイレを観光トイレのように、衛生的で安心・安全に利用できるトイレにするための改善計画について伺う。

A 都市公園以外の小規模公園を対象にした公園施設緊急三カ年整備計画に基づき、日常的な点検や健全度調査等を実施した際の緊急度判定により、優先順位をつけながら補修、更新を計画的に行っていく。



ごみ最終処分場第1埋立地地下水

Q 第1埋立地に基準値を超えるダイオキシン類が残存しているが、地下水経路による暴露の影響を回避するための対策について伺う。

A 第1埋立地には粘土層を敷設し、ダイオキシン類が流出しない構造で建設している。また、埋立地の下流部に位置する観測井戸の測定結果は、環境省による令和2年度の全国規模でのダイオキシン類調査における地下水質の平均値よりも低い数値となっている。

PICK UP

議員定数のあり方の検討結果について

三島市議会では、令和3年度に議会運営委員会が実施した議会基本条例の検証結果を受けて、議員定数のあり方について検討を行いました。9月定例会において、議会運営委員長が委員長報告を行い、質疑、討論、採決の結果、議員定数については委員長報告のとおり現状維持(22名)とすることで承認されました。

委員長報告 令和4年6月から7月にかけて各派代表者会議や議会運営委員会を開催し、議員定数のあり方について、現状維持と削減のそれぞれの立場から意見を出し合い、協議・検討を行った。

それを踏まえ、市民や市内団体の皆さまにアンケートへのご協力をお願いし、さまざまなご意見をいただいた。意見聴取の結果を踏まえ、最終的に議会運営委員会において意見交換を行った。これらの結果を受け、次の一般選挙から議員定数を2名削減することについて、議会運営委員長を除く委員6名で採決を行った。賛成者は2名だったことから賛成少数により否決され、議会運営委員会としては議員定数については現状維持という結論に至った。

検討経過

時期	検討経過
令和3年6月～ 令和4年3月	議会運営委員会において三島市議会基本条例の検証
令和4年5月	各派代表者会議で検討方法について協議
令和4年5月	全議員による意見交換会を実施
令和4年6・7月	各派代表者会議・議会運営委員会で意見交換
令和4年8月	市民や市内団体の皆さまからの意見聴取
令和4年9月	議会運営委員会で採決→現状維持(22名)
令和4年9月	9月定例会最終日で議会運営委員長が報告。採決の結果、現状維持となる。

意見聴取結果▶



委員長報告▶



表決結果

件名	結果	緑水会		改革みしま				新未来21		公明		日本共産党	無党派	無党派	無党派									
		大房正治	松田吉嗣	野村諒子	中村仁	佐野淳祥	甲斐幸博	藤江康儀	土屋利絵	大石一太郎	沈久美	石井真人	岡田美喜子	川原章寛	宮下知朗	堀江和雄	鈴木文字	村田耕一	服部正平	河野月江	杉澤正人	古長谷稔	佐藤寛文	
議員定数のあり方について(委員長報告)	承認	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

※○：賛成 ×：反対 ※議長は表決に参加しないため、表決結果は斜線になっています。

質疑 市内団体のアンケート結果からみても、議員定数を1名削減することについて、もう少し議論を深める必要性があったかと考えるが、それについて議会運営委員会でどのような意見があったのか。

答弁 委員外議員からの1名削減案については、委員の中には現状では賛同できないという意見もあったが、この1名削減案の検討の中で、削減から現状維持に考えを変えた委員がいたという経緯がある。

反対討論 市民や市内団体の皆さまへの意見聴取の結果は、市内団体の多くが削減すべきという意見であり、その意見を尊重するべきである。新聞社の調査でも議員活動が市民の皆さんに理解されない結果となっている。社会経済情勢が大きく変わる中、議員の役割と必要性、適正な議員定数の見直しが必要と考える。



土屋 利絵
(改革みしま)



Q 住む場所がない方を継続的にフォローしていくための伴走支援に関する方向性について市の見解を伺う。

A 三島市を活動拠点として本格的な準備を進めている福祉系居住支援法人を核にし、行政の福祉部門とともに、他の居住支援法人と緊密に連携していく中で、支援のネットワークの構築を図り、将来的な居住支援協議会の設立に向け調査研究を行っていく。



三島の発展のカギを握る、大場地区の開発

Q 大場・函南インターに直結し、東名高速、国道にも便のよい大場を加えたいという三島市全体の新しい街づくりに向けての見解を伺う。

A 大場地区は、地形や交通条件が揃った最後のフロンティアともいえる貴重な財産である。この事業を早期に成功に導き、新たな交流の場や働く場を創出することにより、市全体が魅力あふれる都市へとさらに発展するよう全力で取り組んでいきたい。

他の質問事項
人と動物が共生できる社会をめざして

みしま市議会だよりの表紙写真を募集します！

三島市議会では、市民の皆さまに議会の活動をお知らせするため、年4回(5/1号・8/1号・11/1号・2/1号)議会だよりを発行しています。令和5年度は、より市民の皆さまに議会を身近に感じていただけるよう、表紙写真を募集いたします。下記の応募要項をご確認のうえ、ぜひご応募ください！

テーマ 私がみつけた三島の魅力

三島のまちがますます好きになる写真を募集します。自然の風景や街中の写真でもOKです。

- 応募資格** 三島市在住または三島市内に通勤・通学されている方。
- 応募規定** 応募者(撮影者)本人に著作権があり、未発表のもの。
※応募は1人3点まで。応募者1人につき1点までの採用となります。
- 応募方法** 以下のいずれかの方法で応募してください。

①電子申請：右記のQRコード、または市のホームページから応募フォームにアクセスし、必要事項をご記入のうえ、**JPEG形式(5MB以内)**の写真データを登録してください。



②郵送：氏名・電話番号・写真タイトル等の必要事項を応募用紙*に記入し、写真店などでプリントした**L版横構図**の写真を三島市議会事務局へ直接持参、または郵送してください。
*応募用紙は、市議会ホームページからダウンロードしてください。
(郵送先) 〒411-8666 三島市北田町4-47 三島市議会事務局 宛

- 応募上の注意事項**
 - 人物が明らかに特定できる写真の場合は、必ずご本人様の了承を得てから応募してください。
 - 編集上、トリミング加工やキャッチコピー、キャプションの挿入等を行う場合があります。
 - 応募作品は原則としてお返しできません。
 - 採用作品の著作権は応募者本人に帰属します。

※その他詳細は、市議会ホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。



締一切 ・令和5年3月1日まで

要望4

農畜産業者への支援の強化
国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、6月以降に値上げされた肥料の差額分を肥料等価格高騰対策補助金として富士伊豆農業協同組合三島函南地区本部に交付し、市内の農畜産業者の経営安定を図る。

要望3

公共交通事業者への支援
②**公共交通事業者への支援**
国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、バス・タクシー・鉄道を運行する公共交通事業者への、報償金として支援していく。

要望2

中小企業・小規模事業者への支援
県からの協力金や応援金に乗せする形で、市内中小企業に対して事業継続支援を行っている。また、消費喚起を促すため、キャッシュレス決済ポイントバック事業を令和4年11月に実施予定。原油・物価高騰による影響が特に大きい事業者への市独自の支援策についても、前向きに検討していく。

要望1

学校給食への支援
栄養価や食材をそのままに給食を提供するため、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、予算の補正を行った。今後も、保護者負担を増額せず、献立や食材を工夫し、質のよい学校給食の提供に努めていく。

コロナ禍における物価高騰を踏まえて
**議会から市に要望書を提出し、
市長から回答が届きました**



▼詳細は市議会ホームページをご覧ください。



あなたの声が聞きたい



議会報告会は、常任委員会が各テーマにおける議会の活動を報告し、市民や関係団体の皆さまから直接意見を聞くものです。今年は、会場で直接意見交換を行う報告会と、YouTube で動画を配信し、電子申請で意見聴取を行う WEB 報告会の2つの方法で開催します。

ぜひ好きな方法でご参加いただき、ご意見・ご感想をお寄せください。

会場で

次の日程で開催しますので、お気軽にご参加ください。事前申込は不要です。直接、会場にお越しください。

委員会	月日	時間	場所
総務委員会	11月7日(月)	午後7時から	市役所本館3階 第一会議室
経済建設委員会	11月12日(土)	午後2時から	市役所大社町別館 防災研修室
福祉教育委員会	11月12日(土)	午後7時から	生涯学習センター3階 多目的ホール

WEBで

YouTube (三島市議会公式チャンネル) での動画配信と電子申請による意見聴取を行います。

動画配信等は11月15日を予定していますが、詳細については三島市議会ホームページにてお知らせします。

YouTube(市議会公式チャンネル)をチェック!



詳細是三島市議会ホームページで!

議会報告会に関する情報をお知らせします。



総務委員会

新庁舎建設について



中村仁(委員長) 沈久美(副委員長) 堀江和雄 服部正平



松田吉嗣 川原章寛 土屋利絵 杉澤正人

経済建設委員会

中心市街地活性化について



甲斐幸博(委員長) 岡田美喜子(副委員長) 鈴木文子



石井真人 河野月江 大房正治 古長谷稔

福祉教育委員会

認知症対策について



宮下知朗(委員長) 村田耕一(副委員長) 佐野淳祥



大石一太郎 野村諒子 藤江康儀 佐藤寛文